

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスPEES		
○保護者評価実施期間	2026年1月1日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2026年1月1日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者ごとの情報共有を行なえていることで、支援に対する統一性を図れている。	利用者に対する気づきや変化について逐一報告している。	より個別的な支援を充実させられるよう、広い視野を持って業務にあたれるよう意識している。
2	日々の振り返りをミーティング等で行なえており、利用者の行動やメンタル面について考えることができている。	休日に行なったミーティングにおいても情報共有できるよう、ミーティング内容を記録し保管している。	送迎等を通して、保護者や関係機関とより緻密な情報共有を意識している。
3	目標を持って業務に当たること、目指すべき目標に向けてチームワークを持って取り組むことができている。	月毎に事業所の目標を定め、それに向けた取組を行なっている。	より具体的な目標設定や、職員のモチベーションを維持できる内容を職員全体で作り上げられるよう意識している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	対複数利用者に対する視野の確保を向上させる必要がある。	新規立ち上げによる経験不足と職員数の不足。	利用全体を把握できるような立ち位置や、それに伴うスキルアップを行なうと同時に、人員確保及び職員が定着しやすい職場環境作りを行なっていく。
2	送迎範囲がやや狭い。	送迎車の駐車場所が限られている。	送迎組みに工夫が必要。
3	室内遊びにおいて、激しいボール遊び等ではやや範囲が限られる。	距離感が近くなりやすい。	積極的に、時間に余裕があれば平日でも公園等へ出かけるようにしている。